



特集 夏の思い出が詰まった 古利根川流灯まつり -PHOTO REPORT-

8月26日(土)・27日(日)、古利根川河畔(古川橋、清地橋)にて「第28回古利根川流灯まつり」が開催されました。
日本一の大きさをほこる豊一豊の大型灯ろう約250基が古利根川に並ぶ様子は、まるで地上に舞い降りた天の川のように幻想的な風景。
4年ぶりに通常開催された古利根川流灯まつりでは、金曜日から実施され大好評だった「遊覧船」、商工会青年部による人力車の運行、各種団体による発表など様々な催しが行われました。川面に映る美しい光の帯、そしてまつりで体験した全ての出来事は訪れた人の夏のひと時の思い出となったことでしょう。

◎産業振興課
商工観光担当 内線 305

話題 TOPICS

交流が深まる一日

8月22日(火)、古利根川流灯まつりに向けての灯ろう係留作業に友好都市である福島県富岡町の職員3名が交流活動の一環として参加しました。暑い中での約7時間もの作業でしたが、一生懸命取り組んでくださいました。参加した富岡町職員は「35度を超える暑さでの作業はとても大変でしたが、光が灯った灯ろうの姿はとても美しく感動しました。」と語ってくれました。

◎住民協働課

話題 TOPICS

古利根川流灯まつりにあわせて杉戸町をPR

8月25日(金)、古利根川流灯まつりが開催された古利根川の護岸からテレ玉「情報番組マチコミ」の企画「ご当地中継63」が放送されました。この企画はテレ玉開局40周年を記念し、県内63市町村を巡って地域を紹介するものです。杉戸町からの「ご当地中継63」では、流灯まつりの前日だったため、町の紹介に加え、古利根川流灯まつりの魅力についても取り上げられました。

◎産業振興課



8月25日(金) 古利根川散策路にて 「マチナカリビング」 開催!



「いつものマチナカで、ほしい暮らしを形にする」をテーマにマチナカリビングを開催しています。町民の皆さまや事業者、行政で公共空間の使い方を体験しながら考えていく社会実験です。
今回は、古利根川に整備された河川敷と、宮代町の公共空間に、地域事業者が出店したり、ストリートファニチャーが設置され、くつろげる空間づくりが試みられました。

◎市街地整備推進室 内線 382

